



# NetBSD/x68k の えらい人 だったのに…

トラン

## 登場人物

(@)おき http://chiharu.hauN.org/  
福岡出身。今回の主役。NetBSD/X68k のえらい人。だったのに。

(し)しゃある http://sharl.hauN.org/  
札幌生まれ。MZ-80K2E, X1turboZ で S-OS にハマって現在に至る。最近 Network  
programming に目覚め、Human68k で動作する IRC client を作った。

(ふ)ふるふる http://www.hauN.org/~konishi/  
大阪生まれ。MSX から Quadra650, Dynabook などを経て大学でダメになり、現在に至る。  
X68000 はパソコンサンダーを見て、を、を、かっちょいいなあー。と思っていた。が、実物を  
触った経験もなければ、Oh!X を買ったこともない。

(に)にらたま http://www.imasy.or.jp/~kenichi/  
横浜生まれで(中略)横浜在住のキセル浜っ子。NHK マイコン入門の第 1 期のあたりからパソコン  
に触り出し、もう 15 年以上。GORRY セソセイからの円借款で X68000 EXPERT-HD 一式をゲ  
ット。

インタビュー時のノリをできるだけ再現するために、ほぼ時系列順に並べているので話があ  
ちこちに飛んだりしますが、ご了承ください。

## 見出し

1. 黎明期
2. X68000 との出会い
3. Macintosh から SX-WINDOW へ
4. X68030 で NetBSD な日々
5. 小食王伝説
6. ギャルガーというか肌色ゲーというか
7. ♪ロボットだからーマッシーンだっからー(ダダッター)
8. トレカ伝説

## 黎明期

し：今日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。  
@：どもども。  
し：いきなりなんだけど(笑)、この世界に入った、といつか、コンピュータに入ったきっかけは？  
@：コンピュータ？ んとね、一番最初はコンピュータじゃなかったもの。  
し：うじょ？  
@：そ、初步のラジオという雑誌があつてね。最初に買ったのは小学校 6 年くらいのとき  
で、ちょうどその号に「FM-8 発表」って記事が載ってたのね。  
し：ああ、世代が違うなあ。むしろは TK-80 とかだったもの。  
@：88 とか MZ とか出たあとで、富士通が満を持して、CPU 2 つ搭載しました。21 万 8000 円っ  
ていいく感じで、うわお……っていうのは置いていて。そのころはまだ電子部品買ってきて、  
基板エッチングして…っていう感じだったんだけど…。  
に：ハード少年だったんだ。  
@：金がかかるんですよ。おこづかいじゃやっていけません。福岡出身なんだけど、博多に  
天神っていう、そういう街がありまして、そこまで通うんですが、月に 1 回としても電車代  
がかかるんですよ。失敗したら、終わりじゃないですか。で、考えてみると、ソフトってい  
いよな。金がかかるないよなあ。って(笑)  
一同：(笑)  
し：そうなるのか。  
に：わかるよくな気がするな。その中学校のころって、部活やってなかったの？  
@：中学のころは…陸上部やってました。  
一同：(爆笑)  
@：いや、ほんとなんだった…。  
し：そのころは陸上やりながら、電子工作やってました、と。  
@：そんな感じ。  
し：じゃあ、最初にコンピュータを手にしたのは、いつだったの？  
@：それから、おこづかいを貯めて、10 万くらい貯まったときに、もう、どうしても、我慢  
できなくなってしまった、親に泣きついで、半分出してもらって、買いました。X1C のセット。  
し：マニアタイプだね。いわゆる。  
@：いや、アカティイタイプ。  
し：ああ、そくか、って、(こにし、にらたまを見ながら)わかんないでしょ。  
こ：に：わかんない。  
ふ：欄外に注を入れないとさあ、一般人にはついていけないよ。(編注: 入れる場所ないです)  
@：X1 でいうのが出たあとに、C と D が出了のね。その時に名前がついたの。無印がマニ  
アタイプで、C がアカティイタイプで、X1D には、なんと、3inch フロッピーがついてたの。  
ふ：へえ、え、3inch って、QuickDisk?  
@：いや、ちゃんとしたやつ。コンパクト CF って書いてある。  
ふ：はいはい、あったよねえ。  
@：フロッピーって「へにゃへにゃ」って意味なんだけど、CF とか MF ってフロッピーってい  
いねえよな。とかいたりしてたんだけどね。  
し：そうか、X1 かー。  
@：それが、中学 2 年のとき。  
し：そのころは X1 で何やってたの？ 作ってはなかったの？ やっぱ、ゲームとか？  
@：最初はねえ、雑誌のプログラム打ってたの。  
ふ：ああ、最初はやるよねえ。  
@：そういうのはばっか、やってた気があるなあ。  
し：それが中 2 の夏？  
@：いや、冬、で、その次の夏に X1 にゼビウスが発売されまして…(笑)  
に：中学 3 年?……(指を折りながら)なるほど、diff 取ってみたりして(笑)  
し：で、そのころは、ゲームやったりしながら、雑誌のプログラム打ち込んでた、と。

②: ウン、そんな感じ。そのころは、まだ、レンタルソフト屋とか結構あって…。  
一同: ああ、あった、あった。  
②: 借りてきてはコピーツールで、コピーしてとか。  
し: コピーツールは?  
②: 末期は NEWTYPE とか。  
し: 「末期は」ということは? 最初は?  
②: 最初は、自分で外してた。  
し: X1 のころからやってた?  
②: んんやりやってた。disk ダンプのやつあるじゃない。ディスクエディタみたいな。あいつのでチマチマ読んでて、書き換えてたよ。  
し: 逆汗(dissemb)e しながら?  
②: へへへ、中間のあたりから、ダンプ見ながら打ちこんでた(笑)  
し: そろそろ、少しもそくだったな。  
②: で。  
し: あのころは、ダンプ見たら、何やってるかわかったから。  
②: そろそろ、追ってたもん。  
し: ああ、ここで何バイトジャンプだとか。  
②: E,D,C,B,A って、逆に数えながらね。  
し: 最後は NEWTYPE だったと。やっぱり、最後は NEWTYPE にいくのかねえ。みんな。  
②: ウーん、どうなんだろ。でもねえ。最初の最初はカセットだったから。  
ああ、ダンピングしてね。  
ふ: ダブルカセットのデッキってのは重宝したよね。  
し: ウチのソフトは、カセットのころは、BASIC で組んだ、くっだらしないゲームが、1本 6000 円で売ってたの。詐欺だと思ったね。子供のころ。買いたくて買いたくて、でも買えないけど、しょうがない。ラジオソフト買って、儲けっこー。って、ソフトの勉強始めたの。でも、今はソフトで金取るなんてイカンって考え方になってるけど…この辺がダメだね。  
ふ: あのころってさー、アドベンチャーゲームとかでも line 文とかで縦引いてあってさー。  
し: あとからビュートって、塗っていくっていう。  
に: そろそろ、しかも、パッケージには、こう、綺麗な絵が書いてあってさ。おお、これは! 思って買うと…  
し: 詐欺なんだよね(笑)。アダルトビデオみたいに。中を見たらぜんぜん違うクゥ~って。  
一同: (爆笑)  
し: で、X1 時代が終るのは?  
②: 高校出るまで、X1 だったの。  
し: ジャあ、S-OS との出会いもその辺だったんだ。  
②: 高校に入ったころだと思うよ。  
し: おれは大学に入ったころかな?  
②: いくつだけ?  
し: おれ? 今、31。おきちゃん、28 でしょ?  
②: わい、この前 29 になったの。  
し: ん? なんか計算合はないなあ。ま、いいか。  
し: S-OS かー。  
し: S-OS って、Oh!X に、じゃない Oh!MZ に載ってた、あやしい OS。  
②: ウン、OS っていうか、マシン語モニタ、サービスルーチン群。  
し: でも、あれはあれで、重宝したよね。  
し: ウン、あれで、おれは、IOCS って考え方方がわかったの。  
②: IOCS はねえ。ほら、Oh!MZ とかに結構、MZ の IOCS の一覧とか、X1 のコールの一覧とか載ってたじゃない。で、あれで、直接呼ぶのが覚えたから。  
し: さすが……。  
に: ある意味で、OS っぽいもの一番最初かなあ。でも、そりでもないか。CP/M もなくはないから……。  
し: おれはねえ、CP/M の方が実は遅いの、S-OS より。

②: われも遅いね。  
し: CP/M は、α-BDS C を使うのに、X1 でやっただけで、最初のほうは、S-OS だったなあ。  
②: われも、S-OS でけっこうやってたなあ。  
し: 最初はやっぱ、あ、でも、沖ちゃん X1 だから、ちゃんとディスクからやってたんでしょ。  
②: ウン、ディスクでやってたよ。  
し: おれ、テープだったもの。MZ だったから。  
②: ん? われもテープだったかなあ。テープ時代は長かったよ。X1C って I/O ボックス買ひんと、ディスク付けられないの。だから、結構、カセット期間長かった。  
し: カセット重要。ですよ。  
②: で、クン、そり、X1C ってさ、キーボードと一緒に型のやつだったから、そこから、I/O ポート引きだしして、スロット 4 つ分のボックス買ひないと、なんにも挿せなくて。  
し: で、そこで、改造少年の血が騒いで、自分で引っぱりだして、自作したの?  
②: わいあ、そこまではやらなかったね。  
に: あと、テープ早く買ったよね。  
し: 2700 ポーだったっけ?  
②: 速くできたからさ。ソフトで、4000 ポーとか 4800 ポーとかやってたよ。ウハ一速久一とかが言って、でも、エラーとか。  
し: まあ、あのころは、X1 のカセットってさあ。サッポロとかカンナスでもなくて、それよりもっと速かったからね。結構マニアの憧れっていうか。  
②: PWIM って方式で、MZ とは、1 と 0 が逆だったの。  
し: そり、ひっくりかえして読みないとだめなの。  
②: そりいきしょーもないだけは、覚えてるんだよねえ。

## X68000 との出会い

し: で、高校を出て、新しいマシンと出逢うわけだ。  
②: おれは、ほら、高校出てすぐ会社入ったから、  
し: そり、自由になる金が増えたわけだ。  
②: 会社に入るときに上京するっていうんで、X1 は置いてたの。  
し: ジャあ、さみしいねえ。  
②: そり、だから、しばらくは、何もすることがなくって、会社行って飯食って風呂入って寝る。みたいな。だから、金がたまるわけよ。  
し: なるほどね。  
②: で、最初はボーナスじゃないけど、ちょっと、お金が出るじゃないですか。6月の中頃に今まで貯めたのとそのお金で、買えるもん、と。で、そのことは、もう、X68000 が発表されて1年くらいたったあとで、ちょうど ACE HD が出たころかな? そのころ渋谷に今はないんだけどマイコン流通センターってのがあってさ。  
し: なんか、靴流通センターみたい。  
に: ああ、あたなあ。でも、つい最近まであったよねえ。  
②: あそこいったら、ディスプレイとセットで 30 万。だったんだよね。定価が、36 万 9000 円だったから。  
し: 安いなあ。普通に買ったら、セットで 50 万くらいだったもんね。  
②: で、パソコンデスクも買って、このパソコンデスクだけは今でも使ってるな。  
し: マシンは黒いやつだけ?  
②: そり、黒いやつ。  
ふ: ん? 黒くない X68000 ってあるの?  
し: あるよ、ほんとは、グレーなの。  
②: そ、オフィスグレーってのがねえ。あたなんですよ。  
ふ: 知らない、知らないよ…。グレーってあったのかー。ずっと、X68000 って、黒のイメージだったよ。  
に: あと、初代のグレーと、ACE のグレーって、ちょっと色が違うんだよね。

し: 初代のほうが色濃いんだよね。  
ふ: ふーん。マニアックだなあ。  
②: ちなみに、X1 は赤でした。  
に: あの赤はよかったですよね。  
し: ローズレッド。  
ふ: あのころはよかったよね。コンピュータもカラフルで。っていうか、X1 はカラフルだったなあ。  
に: っていうか、X1 以外はカラフルじゃなかった。  
し: みんな白家电だったよね。  
ふ: あとは、ダサーだったし、色がついてるとおもったら、MSX だったし。  
し: ウヒヤヒヤヒヤヒヤ(笑)  
②: カーソルのまんなかにスティック刺してさ。  
ふ: そろそろ、そろそろ。  
に: そりいき意味でやっぱ、家電から出身というのがあるのかなあ。X1 は。  
し: そりもねえ。で、68 を買ったことで、輝かしい時代が始まるわけだけど、ホントに就職したころなんだね。いまから 10 年前だね。このころは特に 68 では何をしてたの?  
②: 何をしてたの? あんまりないねえ。  
し: 買つたけど、あるだけ。グラディウスをしてた、とか。  
②: まあ、触ってはいたけどね。  
し: あとは、VS-X でアイコン描いてたとか。  
②: あく、アイコンは描いてなかったなあ。  
し: あのころだったら、福袋がなかったから、アセンブラーもリンクもなかったでしょ?  
②: 初代買ったから。  
し: あ、そりが、あつたんだ。福袋ディレクトリの中に。  
②: そ、だから、アセンブラーとリンクで遊んでたの。外字を 68 登録できるプログラムとか書いてたな。  
し: コマンドラインから外字のパターンをへろへろって書くより?  
②: そろそろ、そんなよくなことをやってたなあ。  
し: あれ、あのころって、アセンブルマニュアルに全部 IOCS とか載ってたっけ?  
②: IOCS は、載ってたかな?  
し: 89 年の 6 月号の Oh!X に IOCS の一覧が載ってたんだよね。  
②: でも、それを見た覚えはないなあ。  
し: あれ、あれぼうぼうになるまで読んだんだけど。背中のノリがはがれてさあ、パローンって、もうカラバラになってるんで。  
②: ぼろぼろになった Oh!MZ、Oh!X っていったら、MZ-2000 が表紙だったやつで、Z80 のアセンブラーが載ってたやつで。  
し: リストを打ちこんでぼろぼろってやつ?  
②: もう、ぐわーって広げて見て覚えたよ。  
し: 初めての何年かは、アセンブラー。じゃあ、XC はどうから持ってきたの?  
②: XC って、1.0? 買ったよ。  
し: 1.0 を買ったの?  
②: 1.0 になったころ  
し: それから、C で?  
②: 組みませんでした(笑)  
し: (笑)  
②: やはり、それから、IOCS とかガンガン使い始めたの。  
し: を、ちゃんとしたマニュアルだぜーって?  
②: そろそろ、C は使わなかった(笑)  
し: 資料として買ったのね? あくまでも。  
②: そんな感じ。  
し: あのクソ高いコンパイラ。でも破格だったな、あれ。49800 円くらいだけ?  
②: もうちょっと安くなかつたっけ?

し: 39800?  
ふ: いまから考えると安いねえ。今コンパイラ 10 万円だもんねえ。  
し: そろそろ。  
に: でも、当時の DOS 用もそんなもんじゃなかつたっけ。  
し: Lattice C とか、むちゅくちゅ高かったじゃん。それ考えると、LSI-C とか安くていいなあ、って。  
に: Turbo C ってそれくらいの値段じゃなかつた?  
し: Turbo C 1.0? そりだったかな。  
②: そのころは、88 方はせんせん見てなかつたからよくわかんないや。

## Macintosh から SX-WINDOW へ

し: この時代に基礎が築かれていたのね。で、パソ通しはじめたのは?  
②: パソ通しはじめた前に SX-WINDOW の発売とかがあるんだけど。  
し: あ、そりなんだよ。結構遅いんだ。沖ちゃんって……。  
②: 俺おおいよ、めちゃめちゃに。  
し: そりのね。じゅじます、SX-WINDOW の 1.0? の発売があるのね。  
②: わい、それより前に、マック買つてんだよ。  
し: ヒヤー、SX の前にマックがあるのね。  
②: そり、SX とかいろいろ前にマック買つてんの。SE/30。  
し: ということは? 初代を買ったあとにマックを買つててのね。  
ふ: SE/30 って、100 万くらいたよねえ。  
②: 結構かかった。60 万から 70 万くらいかなあ。2 年ローンで買ったな。  
し: すでに散財の歴史。  
②: で、1 年たったら、半額くらいになつてんの(笑)  
し: しかも、敗北(笑)  
に: マックも暴落ある前はマックと軽自動車どっちにする?ってしねばっただし。  
し: で、マックは特にバスカルでプログラマばりぱり書いたりとかはしなかつたの?  
②: んとねえ、正確にはねえ、あの Inside Macintosh ってあるじゃないですか。あれを、先に買つてたの。本体より。  
一同: あはは(笑)  
ふ: なんで、あれを先に買つ?  
②: わい、あれ見て、クオーブラでよくできてんここれ、っていってマック欲しくなつて買つて。  
に: でも、なんで、Inside Macintosh を買おうと思ったの?  
ふ: そろそろ、当時 I, II&III, IV&V ってやつで、I だけ買ったの。  
②: わい、全部買った。  
ふ: いきなり?  
に: っていきか、それ読んでおもしろそりだから買ったの? よかった。いきなり買ったのかと思って……。  
②: 最初はねえ。もっと薄い BNN から出てた、Summary みたいな本あったじゃない。あれだけ買って、クワーケー、これは、全部読まんとわからんわ……、って。  
し: で、買つたよ(笑)。金の使い方が乱暴だー。  
に: Inside Mac が高かったでしょ?  
②: 高い高い。全部セットで 5 万くらいしたんだよ  
に: 散財王だ……。  
し: このころからすでに片鱗あり。  
②: はく。で、マック買つて、THINK C コンパイラって、ほら、Symantec から出てるやつ、それも買って、ガサガサやってたの。  
し: あのころの THINK C っていったら、まだ 3.0 くらい?  
②: ウン。そりだと思つ。  
に: でも、Mac で C って行つたら、THINK C 以外にないし……。

し：そくだね。  
@：で、それ買って、それが正月休みだったんだけど。その年の春に SUPER-HD が発表されたの。で、そこに新システムとして、SX が載ってたの。  
し：Oh!X の解説とが読むと Macintosh のリソースとか元にしてます。とかそういう話?  
@：いや、友達が SUPER-HD 買ったの。  
し：で、触らせてもらった。  
@：そくそく。もともと、X68000 って、VS.X っていう Visual Shell が載ってて、ほんとにシェルなだけで、なんていかう、マックの Finder が載ってるんだけど、クリックして動くプログラムは全部コマンドラインみたいな……。で、SX ってのは、Window Systemだから、これからはどんといいいろいろできますよ。って、SX-WINDOW の宣伝があったと。で、そのころにもう、dis 出してたんで。  
し：あ、もうあったんだー。  
@：うん、もう出てたの。だから、dis 掛けてみて。  
し：そのころは **abechang** とかは面識なしでしょ。  
@：そう、だから、dis は Oh!X の付録のフロッピーで手に入れたんだよね。  
ふ：そうか、その SE/30 が、いまや、ベンチでフロッピー引き抜かれて…。  
一問：おはは(笑)。  
@：そくなかったよ。ほんと…。  
に：SE/30 だったら、いまや、置物にでもなるのに…。  
@：で、まだ、市販版の SX が出てなかつたの。春だから。  
し：付いてきたやつを触らせてもらってたんだ。  
@：そう、ずっと触らせてもらつたの。だから 1.0? 発売になったのは 1.01。で、7 月くらいだったかな? 90 年だったかな? ある程度解析した結果から、ダイアログを出すプログラムを書けたんで。  
し：もう、書いてる。自分でヘッダも組んで。  
@：うん、それでやっと、C 言語覚えました(笑)。  
し：人は、きっかけがないと、覚えません。  
@：そう、イベントドリブンなプログラムなんで、switch(), case: で分岐していくような感じだから、アセンブラーで組んでたら、こりや、もう、やってられないや。ってことで、C 覚えたんです。  
し：そこでやっと、高い金だして買った XC が役に立つたのね。  
@：いや、gcc 使ってた。  
し：ああ、そのころは、もう、gcc あつたんだ。時代が違うなあ。  
@：そのころは、たぶん、九十九に通つたんだ。  
し：最初の gcc は近藤版?  
@：あのね、もう、九十九とかで、DISK Pekin を配つたの。だから、くまさんとか……、ぶん、その中に入つたやつ。もしかしたら、Oh!X ももしえないけど  
し：で、そのころ SX のプログラムを自分で作りながら、どこにも発表する機会もないんでしょ?  
@：いや、それが、会社で NetNews を拾つてたの。  
し：を、fj.binaries.msc デビュー。  
@：です。fj.x68000 とか見ながら、どうしようかなあ。どうしようかなあ。なんていつたる、その、SUPER HD 買つた友人が、「出してみれば?」って言うから出したのね。  
し：あのころはまだ、binaries.msc だつたんだよね。  
@：そくそく、msc。だから、fj にも、知つてる人はいなかつたんだよね。  
し：そく、パソ通り前か、健全でいいねえ。むちゅくちゅ 健全だねえ。そのときは何を出したの?  
@：その時に、SXKIT って名前でライブラリを出したのね。  
し：1 と 2 に別れてた、アレ?  
@：2 は、あとから出したの。  
し：あ、そくなの? そくが、アシガー。アシガデビューだったのか。ライブラリが入つてて、わかりやすいサンプルプログラムがたくさんあって、で、説明はなし。

ふ：をを、潔い。  
@：あとから、説明付けたやん。  
し：とりあえず、こんなものが、できました。って感じで出て、  
@：プログラム見てわかれ。って感じだったよね。  
し：うしはあのころ、Window プログラムに興味なかつたから「へえ、SX でこんなことやってる人がいるんだあ」で、終り。  
@：でも、あれだよ、今でも、東北大とかのアーカイブを探せばあると思うから、どんなことやってるかって、わかるよ。  
に：SX は最初見て、こんなことができるんだ。って思ったんだけど、ああいう概念がわからなかつたから、あまり触つてなかつたなあ。まあ、ちょろちょろやってたけど。  
@：とにかくねえ、「ながる」がやりたかったの。コンパイルとかやってると、dis とか、他になにもできなかつたじゃん。同時ににかできそうなシステムができあがつた。って言って、SX が発表されたのに、それが、VisualShell と同じことしか用意されてないじゃない。じと、自分がなにかやるか。って言って、やつたの。それが最初だな。  
し：じゃあ、最初は、FSX と一所懸命 dis つたんだ。  
@：そのころ、計測技術の方の人もいろいろソフト出してたじゃん、それを dis つたりしてたんだけどあ、うペル付いてんだけ。  
し：昔の計測技術のソフトってさあ、全部付いてたよね。FSX.X にも付いてたら面白かったのに(笑)  
@：で、うペル付いてるのみて、ある程度コード名とか参考にしてたんだけど、計測技術の人もおれのを見て、「パクってちむ」とか、いってたらしい(笑)。  
し：え、そくなの?  
@：解析してるんじゃないなくて、そくして、写しただけだ。とか思っていたらしい。そくいく話をあとで本を見た。で、そくこうやってると、転載されてパソコンの方にも流れていって、東京電機大にひどりさんとそむとさんって人がいて、その人たちが、梁山泊ネットに出入りして、今度オフ会があるから来ませんか?って、メールが来たの。大学から会社宛に。  
ふ：それで何年だったの?  
(という話から、90 年って、こんな時代だったよねといふ話にずれる)  
し：で、梁山泊のオフに出たと。  
@：そう。場所がねえ、夕方から秋葉原の岩本町の天狗だったの。で、昼間は、島居さんが九十九にくるから。って、九十九に集つたの。  
ふ：島居さんって誰?  
し：あのころはまだテレビ事業部だったっけ? 開発部長さん。  
ふ：へえ、そんなすごい人も来るんだあ。  
し：梁山泊は濃かつたらねえ。その時の面子も濃かつたんじゃない?  
@：いや、「はじめまして」はっかりで「おぼえらんねー」って感じだった。  
し：ああ、まあ、そくだよね。  
@：そんときには GAPO. さんがきて、意気投合して、日本酒とかガンガン呑んで、あの人はずいぶん前に歯とが折つて(笑)、おれはおれで体当りくらつて倒れてたんだよね。気がついたら、ひどりさんが借りてた大井町のマンションかなんかで、みんな横になってマグロになって寝てた。で、奥の部屋からは、ボンバーマンの音が聞こえてた。  
し：わははは。で、そのころって、髪は短かかったの?  
@：まだ、短かつたよ。  
し：短かいときがあつたんだ。  
に：なんか、想像できないなあ。  
@：そんなデビューでした…。  
し：そっか、伸び始めたのって、4 年前っていってたっけ?  
@：んーっとねえ、6 年前かな。  
し：そっか、そのころは、まだ生えてないんだ。  
一問：(笑) 生えてない…。  
@：生えてないって、赤ちゃんじゃないんだから…(笑)

し：で、そのときの仲間に言われて、モデム買ったの?  
@：んとね、モデムは買ったんじゃない。  
し：もらつたの?  
@：なんかと交換したんだなあ。ああ、そくだ。マックのメモリって、256Kx8 を 2M だつたじゃないですか。でも 2M じゃ足りないなあ。ってことで、1Mx8 の 8M に増設したんだけど、2M 分が余るじゃないですか。それと、交換してくれ。って人がいたの。  
し：そのモデムは 2400?  
@：そくそく 2400。交換する相手のほうは、もっと上のやつに交換するからってことで、そのころは 2400 って普通のスピードで、9600 の速いやつに買い換ゑるから。ってことで、交換したの。でも、9600 たつたって、どちらも対応しないところだったから、どうするの? っていう感じのところだよね。  
に：そのころって、9600 対応ってのが自慢になつたよなあ  
@：で、もらつたのが、OMRON の、FS5 かな?  
し：ああ、あの電池で動くやつ?  
@：いや、でかいやつ。  
に：白くて四角いやつ。  
@：そくそく、白くて四角いやつ。あれで、初めてやつたの。  
し：で、梁山泊を根城にしてた。と。  
@：そく、あのころ使つたのが、Muterm だつたかな?  
し：みゆう。そくが、あのころ、もう、Mu あつたのかー。  
ふ：も、もしかして、Muterm って、いつと……。今では SCSI1 の人?  
し：違う、それは QTerm。  
@：そく、それは、あととの話。  
し：で、梁山泊を根城にして、も覚えたし、ソフト作つた。と、そのころの恥ずかしいのは、まあ、いろいろ探せばいろいろある、と。  
@：最初のころは、SXKIT ぱっかりすつとやってた。その年の冬に Oh!X に SX の資料が付いたのかな? フロッピー付いて、ライブラリ付いて、つてやつ。それを見て、バグつて。間違つて。とか、ツヅツツツ言つてゐるやつたつたの。  
し：やなやつ(笑)  
@：いや、ここは、ポイントって書いてあるけど、ポイントのポイントなんだーとか。  
し：でも、ライブラリのヘッダとかはあつてんでしょう。資料ついて、紙は間違つても。  
@：いや、ライブラリも間違つてたの。  
し：で、計測技術にタレシこんだとか…、違くじゃーんとかいって。  
に：解析した人はほかないよなあ。  
@：でもねえ、計測技術の人も梁山泊出入りしてたから、  
し：candy さんとか?  
@：うん、candy さんとか出入りしてたから、斎藤さんとともにね。  
し：斎藤さんって、どの斎藤さん? まねきさん?  
@：いや、まねきさんじゃなくて、んーっと、ozak さん。あの辺で、出入りしてたおかげで、Oh!X の資料が出来るまえから、SX のシステムコードはだいたいわかつたから、誰かが作つてみたんだけど、こくやつたら動かないんだけど…。とかいつたのを、ああ、それはスーパーバイザだからとかそくいふ話をしてた。  
し：梁山泊のころから、SX だつたのか。  
@：いや、SX 作つたっかで、梁山泊入つたから。  
し：そくが、おれ最初は、梁山泊ってのは知らなかつたからなあ。いきなり、Network-SX の方から、沖ちゃんが登場してきた感じしてたし、もう、あのころから、ドキュメントには沖@沖です。って、書いてあつたからなあ。いつから沖@沖で書き始めたの?  
@：それは、fj に投稿するときだけ?  
し：ああ、fj に書くのに、沖@沖です。って書いたのかー、それからずつと沖@沖です。つて使ってたのか。

@：要するに、おれは、沖電気の社員じゃないんだけど、沖電気の勤務で、沖電気のアドレスで投稿してて、でも、会社は沖電気ではありません。と、だから、沖@沖電気です。と名乗るのは、まずいわけで、沖@沖です。って名乗つたの。そしたら、覚えられちゃつたみたい。  
ふ：ああ、沖@沖のねー、みたいな。ああ、あのころって、さあ、投稿してる人って少ないねえ。投稿してる人って、ああ、いつもの人だあ、ってのあつたよね。  
に：しかも、沖@沖だねえ。インパクトあるよねえ。  
@：くん、そのころから、梁山泊には上げるは fj には上げるは、で作ったものは両方にあげ状態だつたから。  
し：おれは、そのころは、まだネットワークに繋つてなかつたなあ。草の根には繋つてたんだけど…。南京から、こんなのであるよつて持つてきて、って感じだつたなあ。  
ふ：それって、91 年くらい?  
し：で、SX 本を出したのは、このころ?  
@：SX 本は、遅れにくつたからなあ。吉沢さんも梁山泊にいたんだけど(笑)。たぶん 92 年かなあ。あ、91 年かもしれない。  
@：SX の本はねえ、めちゃめちゃ読みました。初代のやつ。間違いも報告したりして、「これ d0 じゃなくて、a0 です。」とか(笑)  
し：(笑) ありがち、ありがち(笑)、でも、致命的だからなあ。  
@：そくそく、これ word じゃない、long とかさ。  
し：あるある。  
@：スタッフの積みかただから、間違ふると、動きません。だから。「隊長、動きません!」  
ふ：「もう一度確認せよ」  
@：そのころ、そくいうタキはなかつたけどさ。  
に：確認しても、間違つてるんだから…。  
ふ：どうしようもないよね。  
に：緑色のやつだよねえ。  
@：くん、背が緑色のやつ。  
に：で、次のが青といつか、そんなやつ。  
@：くん、追補版つてやつね。追補版のころには、俺のソフトとかも乗つてたけどね。5inch フロッピーに入つて。  
に：緑のやつは、ぼろぼろといつか、柔らかくなるまで読んだ。  
@：あれ、もう、半分になりそ。からにまだあるけど。捨ててないよ。  
し：すごい…(笑)  
@：そくそくと読んだね。前のほうは知つてるからいらねーって、後のコード表のところはつかり読んでた。  
し：前のほうは概念の説明とかだつたもんねえ。  
@：そそ、チュートリアルとか、で、あのころは、スケルトン書くのが流行つてたんだよね。  
し：みんな、独自のスケルトン用意して、ソフトの発表とかしてたからねえ。  
@：おれも、SX でしょばなからスケルトン用意してた気がする。こちらへんは、よくわからません。とか書いて……。  
し：おほじないです。とか?  
@：そくそく、68000 の A line trap とか使つたから、おまじないです。とか言って、関数名が A line trap のままであるの。AOhogehoge とか……。  
に：あれみて、Macintosh のまねっこが思つた。  
@：そくそく、Macintosh のまねっことか言つて、Call 名あわせて、引数あわせてってやってみたら、確かにまねっこなんだよね。  
し：ほとんど同じでさあ、しかも、引数の型まで同じじの(笑)。  
に：あのときは SX のあれを見てから Macintosh の調べて似てるやつ。っていつてた。  
し：あとでよく話を聞いたら、実は、ToolBox の真似しましたー、って話がどんどん出てきたからな。  
に：でも、ファイル操作が ToolBox のまねっこにならなかつただけましたな……

一同：(笑)  
し：SX の本が出てこって、2.0 になってたっけ?  
@ : 1.1。追捕版が出たのが 1.1 から 2.0 になることで、ちょうど、境目だったはず。  
し：そのころから、SX の元気が無くなってきたような気がするのだけれど。  
@ : よく覚えてないけど…でも 2.0 のころは、あれはバリバリだったよ。3.0 になったことは、がっくらやってしまったけど。あ、そそそ、UNIX 版の Lha を作ったのが、ちょうど、2.0 と 3.0 の間だな。あのころは、fj とかであちこり見たり書いたりしてたから。  
し：fj.sys.x68000 にバリバリ書いてたもん。初心者に対して、すっごい丁寧にフォローするんだよ。  
ふ、に：ねはねははは。  
ふ：それはすごいな。  
し：信じられないでしょ、それはそういうことではなくて、こういうことです。ってちゃんと、論理的に説明するんだよね。それで見てて、すごい人だなあって思ってた。そそくか、そのころが Lha か…。あれはクレジット見ればわかるよね。  
@ : Lha の正確な日付は覚えてるよ。「92.04.01 発表です」  
に：エイブリルフルード。  
@ : その前に「試しに作ってみました版」ってのがあって、社内のポストマスターだった人に頼んで、メーリングリスト作ってもらったの。  
し：あの ML って、しばらく続いたよね。俺が会社に入った時にはもうあったもの。  
@ : そそいはね、そのころに void の人と、メールのやりとりしたなあ。  
し：ほへ？ どういうメールだったの？  
@ : なんねえ、例によって半角カナを使ってたひとに『馬鹿』って言ってたから、「どうして半角カナはダメなんですか？」って聞いてみたの。そしたら、結局、1 つの文字に 1 つのコード。ってのと、文字の大きさってのは自由に変えられるはずだから、大きさが違うだけの同じ文字に違うコードってのはおかしいってことで、fj では半角カナはやめましょう。ってルールになった。といふことらしいんですよ。でも、あの人は、そういう説明をせずに、いきなり「馬鹿」って書くんだよね…。まあ、あの人の聞いたうっちゃんを教えてくれる人だから、そんなに悪い人じゃないんだな。って思った。懐かしいけどねー。すいぶん。  
し：SX のアプリを作るかたむら、sxerror とかいろいろやってたわけだけど…、アレって何年だった？  
@ : んー、Archive とか調べれば必ずわかるんだけど…。かなづくレジットに年月日付けてるから…。  
し：あの頃ってさあ、実は、fish 出てるんだよね。  
@ : fish 出てたっけ？  
し：出てたはず。あ、ぎりぎりかもしれない。  
@ : fish はねえ、そのころ、もう、NIFTY 入って、そこでいたくとやりとりして、fish でどうしたらいい？って聞かれてたもの。逆に。  
し：あ、そそくか、俺は、いたくのつてで会社に入ったから。fish が出来る出ないかのころに chd の話をしてて、ずっと。それ実現が難しいとか、環境変数を親に持つのはどうすればいい…とかそんな話をしたから、fish が出てるところじゃないかなあ。0.7.いくつ…のころだと思。  
@ : 作ってて、fj に流すって話があって、それから流れたから、fish は…。先に社内に流逝した時期があったんじゃないのかな。  
し：いや、おれは、南京から拾ったぞ。だって、南京でいたくにあって、それから知り合ったから。  
@ : ウーン、わかんなないなあ。じゃあ、出てたのかもしれない。  
し：その辺は、アレって fish との因果関係はかなりあるからなあ。  
ふ：アレってな？  
@ : ああ、Human68k っていう、X68000 の OS があって、MS-DOS みたいなもんなんですよ。  
し：いや、おれは MS-DOS だ。

@ : まあ、その、MS-DOS for 68000 みたいなものがあったんだけど、シンボリックリンクってないの。で、作りました。それがアレ。Indrv.  
ふ：ふーん。  
し：そのころは、SX のプログラムを書いてたんだよねえ。じゃあ並行して作ってたんだ。  
@ : そうだね。だから、逆に言いくと、発表したプログラムでスクランチから書いて、きっちり出したのって、多分あれが最初じゃないかな。  
し：アレが最初なのかな…。  
@ : クン、オリジナルのプログラムでは、最初だな…。ライブラリ先に出してたからさ(笑)。おかしいなあ。アレはねえ、オールアセンブルでした。最後までオールアセンブルだったけど。  
し：ライブラリは違うよね。  
@ : クン。ライブラリは C だったけど。本体はきっちり、アセンブルでした。  
に：最初のうちは、なんか、怪しいし、リンクって概念が頭に無いから、なんでこんなのがいるのかなあ。って思ってた。ほら、ちょうどそのころ UNIX が持ってきて、無理矢理 Human68k の環境を UNIX 風にしよろしくなってたんじゃないかな。  
し：それは Mad-Player さん、unixes シリーズかな。  
に：そこまで UNIX がいいんだって、UNIX 使えばいいじゃん、Human なんか使わないで…。って思ってて、しかも、UNIX の儀式だけ通して、いままでの Human の環境だと上手く使えないかったりとかして、そんな中途半端なものを持っていくなーとか思ってた。だから UNIX 者は一、とか、ユニバースとか呼んでた。「だからユニバースダメなんだ…」とか言ってたな。  
@ : クン、会社で Sun3 とか触ってて、UNIX は触って気持ちいいんだけど…ってのはあったもんなあ。  
し：一番 Human で困ったのは、標準エラー出力だけ抜き出したいんだけど、できないから、くそく、この MS-DOS だー。とか言ってたら、いたくがやってくれたから、一気に UNIX 風に流れていったな。  
ふ：あれ？ MS-DOS って、標準エラー出力って取れないんだっけ？  
し：@. に：取れない。  
に：いざわざソフト書く。  
し：クン、それ用のソフト書くの。  
@ : だって、リダイレクトこれ(>)とこれ(>>)これ(<")しかないもの。  
ふ：そっか、そくそく。  
し：そく困ったのさ。プログラム書いてて、エラーログだけ別に欲しいのに、っていつたら、プログラムを改造するが、別プログラムで標準エラー出力で切り取るか。  
ふ：…へえ、考えたことなかった…。いや、こないだ、Perl のスクリプトを 95 で書いてて、自分では標準出力と標準エラー出力と分けてつかってるけど、これって、あとからどうやって使んだろう？って疑問があつたんだよね。  
し：あはは、疑問が氷解したな。  
ふ：そっか、そくか、使えない。ってことなのね。ようするに……。  
に：いや、分けられないっていうが、常にコンソールに出るから、ログ取れない。たしかに流儀的には正しいんだけど、プログラムからエラー出力するとリダイレクトで取れないで、エラーだけが延々と流れていって、読めないの。いまだにあるよ。そういうの。  
ふ：取れないよね。リダイレクト。  
し：あのころにね script みたいなツールがあったなあ。って話。

し：で、沖ちゃんが、このシンボリックリンクドライバを書いたと同時に、っていうか、ちょっと早いんだっけ？  
@ : 1 日。fj には 1 日くれた。  
し：COR. さんって人が同じようなシンボリックリンクドライバ作ってたの。山形大学だった？  
@ : そく。  
し：山形大学の COR. さんって人が、SX-WINDOW とは別に、ん？ あのころは DoGA の小林さんが作ってたのをメンテナンスはじめたころかな？ で、Ko-Window ってのがあって、こいつ

はもうめちゃめちゃ軽い。しかも、システムのソースも全部公開してる。つつく Window System を一から作った人がいたのさ。そういうバカなやつが。  
ふ：すごいなあ。  
@ : ばかばっか。  
し：そく、ばかばっか。なんだよ、あの頃は…。  
@ : ライブライアリ組むやつはいるは、  
ふ：1 から Windows システム作るやつはいるは、  
に：そういう意味では、DOGA だって、一からそういう CG システムを作ったんだから。  
し：そくだよねえ。  
に：まいるよね。  
し：あのころに、そういう濃い活動していた人は今第一線で活躍してるから…、Perl のカンファレンスに演者として出たりね…。  
ふ：それも、会社の仕事と関係ないことで出たりするんだよね。  
し：そそく、お金もらってんだから、ちゃんと別に申告しないと…(笑)。  
し：Indrv と前後して、っていうか、そのころ何やってたの？ 3.0 が出るのって、まだまだ先だよねえ。  
@ : そのころはねえ、SX に Ng の移植とか、やってたよ。あとは、実行属性のやつ。  
し：ああ、execd ね。あったあった。今でも使ってる。  
@ : あはは。  
に：あれもねえ、いまいち意味がわからなかったから、これだからユニバース。とかいってた。  
し：あれ？ execd の前に #! を移植したのって、abechang だっけ？  
@ : ん？  
し：あの f1 が出来る前に、command.x で…  
@ : ああ、そく、abechang。  
し：この辺にも abechang が登場するのか…。このころから UNIX にかぶれはじめるんだな。  
@ : おもっきりかぶれてるよ。  
し：だってさあ、まだ MicroEMACS の 3.9 くらいが梁山泊で流れただじゃない。日本語対応したよーとかいって…。あのころからシステム附属のエディタじゃなくて、売りものでもなくって、フリーのエディタってことで、ソースの公開されている UNIX から vi 系がどんどん流れてくれるわけ。で、SX にも初めての emacs 系が来たのが、Ng でそれが SX-rg になったのか。  
に：あれ？ MicroEMACS って？  
し：いや、あれも UNIX だけさあ。なんというか、本物の emacs だよ。  
に：確かに。そそく、Ng はねえ。パソ通で拾ってきたから、えらい難儀した。  
し：デカかったよねえ。  
に：展開して入れると、さらにでかい。  
し：しかも、dump つつのが始めてでてきて。  
@ : それ、NEmacs。  
し：それ NEmacs だっけ？ そく、Ng は二セ lisp だ。  
@ : NEmacs はデカかった。  
し：NEmacs はいかむだっけ？  
@ : そく。今マイクロソフト。  
一同：(大爆笑)  
し：Ng の移植も沖ちゃんだったのかー。たぐるといろいろ出てくるねえ。有名人だよねやつぱり。沖ちゃんって会うまでは 1 つの憧れだったわけですよ。  
に：だって、数々のすごいソフトの作者で、しかも OS の移植してたっていうと、もう、その当時、雲の上のさうに上の上の上の人のだつて印象だったから。  
@ : 実はそのころ、X68030 が出来た前に、NEmacs を SX で動かしました。  
し：がーん。またかい。  
ふ：そんなものもあったのかー。  
@ : クン、あのねえ、dump するときにうまく細工して、コマンドラインから立ち上げたらコマンドライン版、SX でダブルクリックして立ち上げたら Window 版が立ち上がるよにした。



くのは多分 DX4 マシンのタワーが一台あった頃だから、それで遊べるかなって買って遊んで、「あーこいつゲームもあるんだ、ふーん」って感心してさ。んで、そのあとは『サクラ大戦』やるかもやらないか。

ふ：ああそうかそれはもう『ときメモ』が出たときだ。

@：『ときメモ』はとっくに出てた。だからセガサターン版の『ときメモ』と『サクラ大戦』とおれ一応買ってるから。実は。

し：『ときメモ』買ったんですけど。

@：周りがやれやれーっていういろいろあってる頃だから。

し：ああ背中押されてたのがね、もやは。

@：でもやなんくて。『サクラ大戦』やって、まあ面白いけどなーってこれ！ 長いよこれ！ つって散々やって途中で途切れ途切れ途切れになってしまった。で『サクラ大戦』が終わるとの『暁』やるのとどっちが先だったかな、わかんないや。でいく感じ。割とその辺がこうなってるの。日記見りゃわかるけど。でわりと WEB ページのほうでもそういふ風に、ある CG 系のページでも面白いとか言うのがすごい書いてあって、だからゲームとして面白いんだったらああちょっとやってみようかなあって気になって。で、いつもさ。第2弾とか第3弾とか出でるタイプのって、3のほう先にやっちゃうと1やったらアラ見えちゃうよね? 思いつきり。

し：ふ：うんうん。

@：だから1からやろう、と思って『暁』やったの。そのころは『To Heart』でいう話は全然なくて、2作だけ出てて、でいく感じだったんだけどね。で、『暁』をやりました。ふーん、なんか絵へんな。とかいってこうやって。

ふ：あの絵変だよね。怖いよね。

@：歪んでるよねこれってやってたんだけどね。そしたら……ハサミ。

ふ：ああハサミー。んー。

@：しつぽばなハサミ。だからハサミ見て「こ、これはすごすぎる！」つって、最後のほうまでずっとやって、やりきって。で『暁』やり終わったら「あー面白かった。そいや『痕』っていうのもあるんだな。これは買ってやらねばなるまい」っていうことになって必然的に1週間後に買いました。

に：ギャラゲーラボの加速がここにあるのか。

@：みゅー

に：歴史はもっと前からあるわけだなあ。

@：へーだからそんだけハマってあー面白かったなあ、これあーお勧めだなあ、って日記に書いてたりしてたんだけど、そのときは一すけさん のほうから「その Leaf の新作っていうのが出るらしいよ」で、ロボっていうのが出てくるっていう話が出てさ。その頃から俺はエリゲーラ雑誌とかが全然出来ないっぽいだったから。「ふーん」って。あの人はその頃から見てたらしいからさ、チェック早いよねー。

ふ：エリゲーラのことははーすけさんに関して感じだったもんね。めっちゃ早いなあ。

に：そくなのか…………。っていうのは一すけさんなんでも知ってるけどね。

し：うんうん。アンテナ広いよね。

@：そそそ。絞ってないからさ、なんか。そんな感じで。

ふ：そそそ。『To Heart』が流行ってたときってなんだろ。…俺なんで『To Heart』買ったんだろ？

し：謎だ。

ふ：わかんないんだよね。あれっていうだけ？ 『To Heart』

@：『To Heart』はね……去年だけ？ 去年の5月。

ふ：去年は去年なんだけど。

@：去年の5月23日発売で、はーすけさんはその日に買って、janusさんは前日の夜中に買った(笑)さっさと解いて「マルチいいです」って帰ってたんだけどね。

一同：はははは……くっくく……

し：も：う。この辺でかなりダメ度アップって感じだね。

@：あの人人はどうがいいかもしれない。

ふ：あーこれでも janus さんと一度こうやってゆっくり話聞きたいなー。

し：だったのに……あの人もだったのになんだよ。  
ふ：ん～……。  
に：恐るべし。  
@：で、というかねえ俺はどうつかつうと『True Love Story』の話になっちゃうんだろうけどな。  
し：うん。  
@：あのー、年明けたぐらいからたぶだぶちょくちょく見ちようになったの。  
し：ああ。  
@：そのころまでは、あの日記、量は多いんだけど訳わかんないことがいっぱい書いてあるから読まない日記だったの！  
し：え？ そう。うん。  
@：いまだにそうかもしれないけど他の人は。  
ふ：確かに……確かにそうだよ、なんだかこれなんかキーワードなんだけど何だろうなあ、っていうのはあるね。

@：で、やたらTLSって書いてあって、なんかこうでこうでこうでこうでこうなっちまったー！って書いてあったから、「ああ、これ読んでると面白そうだ。多分ゲームなんだと思いますけど、T・L・S。なに？ これ？」

ふ：んーん。

@：だからパソコンのゲームかPSのゲームかサターンのゲームかも知らない。ゲームかどうかさぬ細い、ていぐ感じの状態だったんだけどね。でなんだろうなあこれーって書いてる日記もあるはず。

し：ふ：ふーん。

@：で結局、あの、PSのゲームらしいぞ、と。ふーん、出てんだ。ふーんふーんっとかやって。

し：買ってみようかって？

@：うん。だから昔は「PS?あのボリゴンがみんな同じかたしてるかっこわいいやつ?」とか思ってたからさあ。

に：てことはその時点では持ってなかったの？

@：サターン持った。だからサターン持ってたけどPS持てなかつたって感じだったの。

に：じゃサターンは何で買ったの？

@：サターンはね、『パンツァードラグーン』。

し：『サクラ大戦』じゃないのか!!

@：うん、『サクラ大戦』より前に持てたの。だからパンツァーもツヴァイも持ってるよ。RPGはもってないけど。

し：ああ、AZELね。

@：AZELか。

し：そりが、『パンツァードラグーン』で買ったのが。ちょっと意外な感じだな、沖ちゃんがシューティングするなんて。

@：でももしショーティングあんまりしないんだけどね、へたっぴだし。でもあれで買って遊んでるから。

@：やっぱリサターンだと多分一番時間かかってのは『サクラ大戦』だろうなあ。あれは長い……単純に長いだけだから。でも多分一番楽しんでるのはパンツァーだと思う。クーン。でそのころはそんな感じでPS持てなかつたんだけど……当時ねえ、FF7関係のせいでもPS品薄になつてさあ。

し：ああ。

に：その後まで持てなかつたんだ。

@：うん。ちょうどねえ、週末にいったらいい状態。

ふ：PS俺買つたのってねえ、……去年の……去年の頭だ。

@：俺も去年の頭だって。

ふ：いや去年の頭って4月ぐらい。

に：ああ年度頭。

ふ：うん年度頭。

し：なんで買ったの？

@ : けんとさんは面白かったんだよね。『To Heart』やってハマったあとに『罪』買ったんだよあの人の。

ふ : あーあー。であれどよなさきばんと交換するんだよね『To Heart』と『痕』ね。

@ : そっそくそくり(笑)面白かったなーと思って。

ふ : おかしいよなああの人のね。

@ : でも最初中古探してて中古だけなこれ! つってたから。実際高いんだけど。懐かしい。

## ♪ロボットだから～マッシューンだっからー(ダッダー)

@ : みんな睡そう……ここでおれが眠くないそぶりをしてはだめなのか。

ふ : かまわないよ。

に : いいんだよ別に、それはしかたがないからさ。

@ : ガビーン!

ふ : ロボだから。

@ : なにゅー……しょうがないなおれも眠いことにしよう。

し : 眠いつくよりは体が疲れてる。眠くはないんだけど。

@ : はあ、体? ふつづく……ちょっと疲れてる。

し : 機械の体。

@ : ちがーク……金属疲労ってゆーなー!!

に : そくそく機械の体っていわれたのはどこからなの?

し : え? 『TLS』で寝ないからで。

に : あそっかそれなのかな。

し : 寝なくてても大丈夫でロボなの。

@ : ちがーく

に : え、もっと先からロボって言われてんの?

ふ : だってだってさあ、だってさあ、はらかわさんもっと昔からからロボって呼んでたようそなりを見せてるから。

に : ジャあもっとあるのか前に。

ふ : もっと前からあるよ。

し : SX時代からあるのが…?

@ : あのね、NIFTY いってたころ。

ふ : あ! 朝までRTやって。

@ : いつもいるっていわれた。

一同 : ふはははは!

ふ : 朝までRTやって、会社行って戻ってきたらまたRTにいたっていく。

に : ってことはやっぱボットがロボの起源だったのか。

@ : なにゅー

し : いつも寝てるんだこいつー、とか。

@ : うん、そんなことはいわれてたよ。

に : なるほどー。

@ : 「じゃあきっと生身じゃないに違いない」とか誰かが言ってたような気がするけど。

に : あなるほどそれかやっぱり。昔から生身じゃなかつたんだ。

@ : そんなことないのに、寝てるのに。おかしいなあ。

ふ : 30分だけ?

し : 30分だけか、やっぱりきついよね。

に : え……300nsの100本セッピとかそのくらいじゃないの

し : 100本セッピ(笑)

@ : たしかにそういうことはいわれたよ「インターネットだろ」とかわけわかんないの。し : 瞬断して起きてんの。

@ : 今反応純化からきっと寝てんだよとかいわれたよ……いうなー!!

に : 早くは100本

ふ：ていつかあれなんでしょ、プロセスが時々ストリーブになってるからとかそういうの。  
し：外部刺激があると起きるんでしょ、こう。  
に：はあもう、APM が発達して——  
し：反応が速すぎるっていうときは一応ハイバネから復活してるんでしょ。  
に：ハイバネちう。  
@：勘弁して……  
ふ：で、一つ一つのプロセスがずっと寝てるから、カーネルがこう、うまく動いてれば全然問題ない。  
@：こん見た目は起きてるよう見える。  
ふ：そうそうそう。  
に：沖電気製の。  
@：なにゅー。……だからそくいうネタがあったの、昔。  
に：なるほど、んじゃもう、ロボっていう呼ばれ方は伝統的なわけか。  
ふ：伝統的なのか……。だって、どこからどクロボっていう名前が出てきたのかわかんないけど。  
@：それははるかわさんが日記で書いたんだよ。  
ふ：あー、「あの人口ボだから」……え、それはあの、ますたーさんの……TLS のページがてきてから?  
@：んーん。もっと前だと思うよ  
ふ：もっと前……?  
@：だってさあ——  
し：「ロボってゆーなー」ってのを探せば一番古いのが出てくるはず  
@：なにゅー。だから誰かが下校ロボとか言い出したけどその前からロボってのはあったでしょ。  
ふ：あああ。  
に：下校ロボ……。  
@：下校ロボってゆーなー！  
に：今はもう、下校ロボとかギャルケーロボとかトシカラボとか。  
し：トシカラボぬえ。  
ふ：ゲッターロボとかも。  
@：みんなひどいなあ……いやまあゲット宮内とは名乗ったけどさあ。

### トシカラ伝説

ふ：ああ、トシカラトシカラ。トシカラの話してないよそくいえば。  
@：トシカラ？ トシカラの話すんの？  
ふ：なんで買ったの？  
@：『TLS』  
一同：はははははははは!!  
@：ははは……もういくことない?  
ふ：……ごめん……。  
し：聞いたのがバカだった?  
ふ：うん、おれが悪かった。  
@：いやほんとだよ。それまで見向きもしなかったの。  
し：ヲし、トシカラってのは一般的知識として、あのアメリカのスポーツトシカラとか PLAYBOY のトシカラしか知らないがたの。で今なんか日本でトシカラがそくい風になってるって初めて知ったのは、沖ちゃんが日記に書いて…おお、ゲームのトシカラって出てるんだ! ダメすぎ!!  
に：あれ、Magic は知らないかったの?  
し：ああ Magic あつたねん。でもあれトシカラだと思ってなかった。  
に：おれは会社でハマってて箱ゲット…箱買いの人が多數いて、で、そくい話をいろいろ聞かされて、ああそれハマるとやばいなって思って。で高校の友達とかが10万くらい突っ込んだーとか言って、ああそもそもは絶対エ手つけちゃだめだ! とか思って。

ふ：カードダスとか…。  
し：カードダス? ああ、あれもトシカラなのか一応。  
に：それだったらカードダスとかあとプロ野球チップスとかその辺もテリトリーになるね。  
ふ：そくだね。  
@：そっち系は全然興味なくてね。Magic とか。  
し：沖ちゃんのトシカラってほとんど『TLS』なんですよ。あとは『To Heart』?  
@：『TLS』でしょ、『TLS』の第2弾でしょ、『To Heart』でしょ、『To Heart』しぐらーバージョンでしょ、それから『To Heart』のポストカードでしょ、『To Heart』の下敷きでしょ。『To Heart』多いよめちゃめちゃ。あれは種類がいっぱいあるから。あと『Natural』…。  
ふ：沖さん東鳩にハマってるよには思えなかつたんだけど、トシカラは買ってるよねえ。  
@：買ってるねえ。コレクター魂?  
し：ふ：クーン。  
@：いや『White Album』のトシカラも出たら買う予定だけど、あれは——  
に：ああ出るっていく…。  
@：今月出ますから。(編注: インタビューは11月です)  
に：で、またゲット宮内活動再開。  
@：あれは全66種類だそうです。  
し：66? すぐ終わりそくだなあ。  
に：少ないねえ。  
@：少ない、少ないけどティーアイだから怖い、すっごい偏ってそくで。『To Heart』のトシカラがティーアイってどこが出してて、すんごい偏ってそくなのはご存知のとおり。マルチ出ませんマルチ出ませんマルチ出ませんマルチの鬼——!! つって。そんな感じだったから。  
に：ゲット宮内なの?  
@：そくいやゲット宮内誕生ってあれだよ、Future Bee でこくやって開けてて、ああスペシャル引くか、イリュージョン出たよ…宮内レミィだ! よーし! 1枚ゲット! 次の袋いこう…  
一同：はははは  
@：あ、3枚目出た…ゲット宮内だよ!! 「いらっしゃいゲット宮内」つってたのが最初。「だめだよゲット宮内だよこれ!!」3枚ともゲット宮内勘弁してって感じだったの。  
に：で、ゲット宮内と。  
@：そくでした。はい。

### 編集後記

いやーいろいろ疲れました。アンミラーズ渋谷店での馬鹿話からこんなことになろうとは…。次もぜひ出したいけど今はもうなにもしたくなーい!! って感じです。

夏は「千里眼のえらい人だったのに…けんと」と「GARRY 先生より一言…GARRY」の二人分を予定しています。あくまで予定…。

最後に。

テープ起こし担当のふるふる、しゃがっぴ、にらたまん、  
表紙デザインのにらたまん、  
快く何もかも(?)さらけ出してくれた沖ちゃん、  
みんなありがとく!

1998/12/28 しゃある <shari@hauN.org>

1998/12/30 初版発行  
1999/08/13 第二版発行  
2003/08/12 第三版発行  
2003/10/09 PDF 版発行

### 連絡先

<http://systeMZ.hauN.org>